

投票結果

投票所名	有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)
1 ゆきわりそう	141	81	57.45
2 土谷川生活改善センター	70	45	64.29
3 元木生活改善センター	152	97	63.82
4 小屋瀬農村センター	255	191	74.90
5 田代コミュニティセンター	223	152	68.16
6 夢見る里ふれあい交流館	119	87	73.11
7 小田林業研修センター	171	138	80.70
8 星野生活改善センター	275	159	57.82
9 複合庁舎くずま〜る	571	370	64.80
10 新町自治会館	587	424	72.23
11 茶屋場自治会館	609	390	64.04
12 江刈馬淵自治会館	164	115	70.12
13 車門ふるさと会館	133	108	81.20
14 五日市生活改善センター	339	252	74.34
15 江刈農村センター	338	250	73.96
16 寺田公民館	120	88	73.33
17 橋場生活改善センター	267	215	80.52
18 水車の里交流館	103	64	62.14
19 冬部生活改善センター	148	110	74.32
20 田野構造改善センター	140	97	69.29
計	4,925	3,433	69.71

開票結果

候補者氏名 (敬称略)	得票数	当選回数
柴田 勇雄	447票	6回
深澤 進	347票	1回
竹花 結	344票	1回
高宮 一明	333票	9回
山岸 はる美	329票	7回
鈴木 満	324票	6回
辰柳 敬一	285票	10回
藤岡 徹	265票	1回
姉帯 春治	215票	7回
山崎 邦廣	180票	4回
近藤 聖	138票	
遠藤 裕樹	109票	
下屋敷 幸男	87票	



まき×まきホールでの開票の様子



町議会が16年ぶりの選挙戦
住民の支持集め10人が当選

任期満了に伴う町議会議員選挙が12月19日に告示され、議員定数10人に対し13人（現職9人、元職1人、新人3人）が立候補しました。

町議会議員選挙は平成19年の選挙を最後に3期にわたり無投票であったため16年ぶりの選挙戦となり、投票は24日の午前7時から町内20投票所で行われました。

開票は同日午後8時から複合庁舎くずま〜るのまき×まきホールで行われ、観覧席では各陣営や報道関係者もその行方に注目しました。開

票は午後9時3分に終了し、現職6人、元職1人、新人3人の当選が確定しました。当日の有権者4,925人に対し投票者数は3,433人で、投票率は16年前の81.04%を11.33ポイント下回る69.71%でした。

当選者には25日に八幡忍選挙管理委員長から当選証書が交付されました。議員の任期は1月20日から令和10年1月19日までの4年間で、議会構成を決定する初議会は1月23日に開催されます。

町議会議員選挙当選者の皆さん (届出順、敬称略、1党派・現元新の別 2当選回数 3職業)



たけはな ゆい
竹花 結
(36歳、新町)
1無所属・新 21回
3主婦



しばた いさお
柴田 勇雄
(79歳、新町)
1無所属・現 26回
3無職



あねたい はるじ
姉帯 春治
(72歳、小田)
1無所属・現 27回
3無職



たかみや かずあき
高宮 一明
(76歳、江刈)
1無所属・現 29回
3酪農業



やまざき くにとろ
山崎 邦廣
(69歳、小田)
1無所属・現 24回
3農業



ふじおか とおる
藤岡 徹
(75歳、新町)
1無所属・新 21回
3社会福祉法人職員



たつやなぎ けいいち
辰柳 敬一
(78歳、栗山)
1無所属・現 210回
3酪農業



すずき みつる
鈴木 満
(62歳、小屋瀬)
1無所属・現 26回
3酪農業



やまぎし はるみ
山岸 はる美
(65歳、山岸)
1無所属・元 27回
3酪農業



ふかさわ すずむ
深澤 進
(67歳、野中)
1無所属・新 21回
3農業



会議を進行する広田会長とあいさつを述べる鈴木町長



それぞれの立場から情報提供や意見を述べる委員の皆さん

12月1日、町総合計画審議会が複合庁舎くずま〜るで開催されました。

総合計画は、各分野の必要な施策や事業を体系的に示すまちづくり計画の最上位の計画です。平成28年度を初年度とする12年間の計画のうち、今回は4年間の後期総合計画（令和6〜9年度）を策定します。審議会委員には有識者や各団体、子育て世代や移住者などの代表15人が委嘱され、岩手大学の広田純一名誉教授が会長に就任しました。

鈴木重男町長は「重要分野の施策を皆さんに審議いただく

き、貴重な意見を計画に反映していきたい」とあいさつしました。

会議では計画の骨子について担当職員が説明。委員は「子どもたちが希望を持てる町にしたい」、「町の魅力にまず町民が気付くことが必要」など活発な意見を交わっていました。

審議会は今後、年度内に3回開催予定であり、最重要課題である人口減少問題への対策と持続可能な町を目指す計画の策定に向けて議論を重ねていきます。

町の将来像の実現に向け
総合計画後期基本計画の策定へ始動